

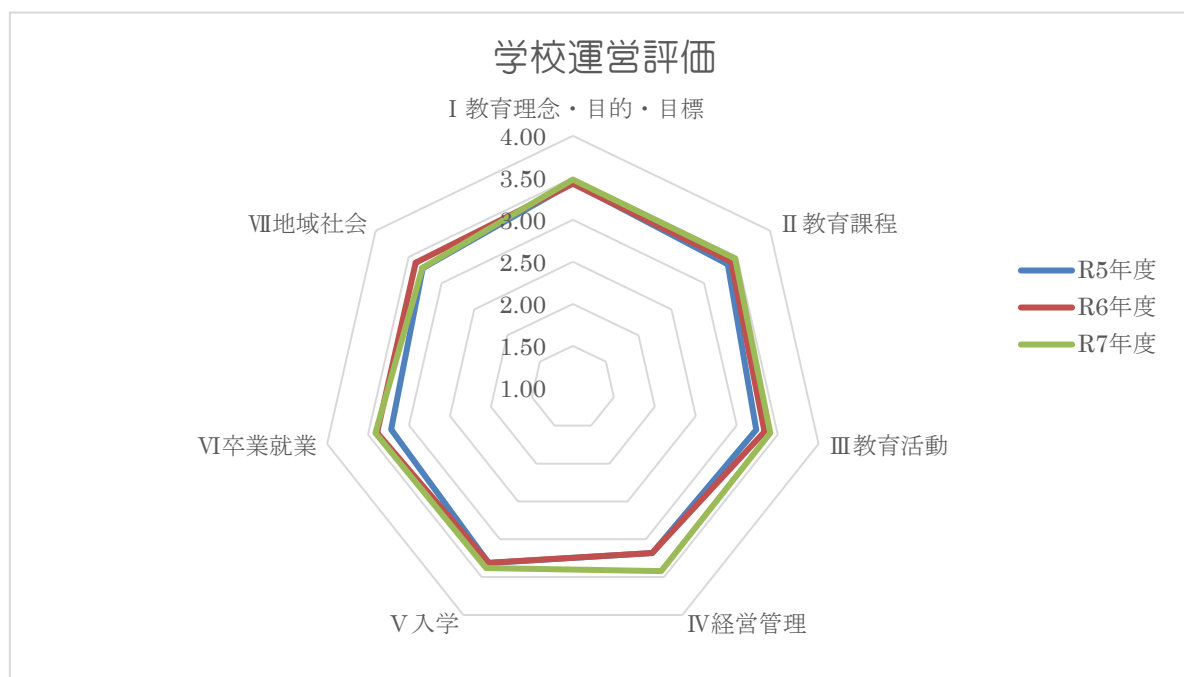
令和7年度 学生による自己点検・自己評価の結果概要

1 学生による自己点検・自己評価の取り組みの経過

昨年度より学生による学校運営の評価を実施している。評価結果は今後の学校運営に活かしたい。

2 学生による自己点検・自己評価結果

評価項目	R7年度	R6年度	R5年度
I 教育理念・目的・目標	3.48	3.34	3.44
II 教育課程	3.47	3.41	3.36
III 教育活動	3.41	3.33	3.24
IV 経営管理	3.42	3.30	3.18
V 入学	3.38	3.37	3.31
VI 卒業就業	3.41	3.37	3.22
VII 地域社会	3.29	3.29	3.29
平均	3.41	3.35	3.29



- 86%の学生がアンケートに回答した。全体的に昨年よりも評価は上がっている。2年生の平均点が低かった。
- I 教育理念・目的・目標、II 教育課程は昨年より若干上がった。教育理念、目的、目標は学生に浸透していることが評価に現れている。単位履修の方法については平均点以下になった。丁寧な説明と支援に取り組んでいく。
- III 教育活動の評価は昨年より上がった。時間割の変更が多かったことは課題である。
- IV 経営管理の評価点は昨年より上昇した。校舎の老朽化は改善が難しいが、日頃の点検や可能な範囲での修繕を行ったこと、教室のロッカーの設置、学習机や椅子を使いやすいものに変更したことが評価された。学生への支援は平均以上で、職員の学生への支援の結果が表れている。
- V 入学の評価点は昨年と変わらなかった。広報活動やオープンキャンパスに学生の協力を得ることは継続したい。学校案内のパンフレットは見直していきたい。

- VI卒業・就職・進学の評価点は昨年より上昇した。ディプロマポリシーの達成状況の評価を明確にし、学生が自身のキャリアに向けて目標を持てるようにしたい。
- VII社会貢献はフィールドワークやボランティアを行った結果が表れ、1・3年生の評価が高かった。

4 今後に向けて

令和7年度の学生による自己点検・自己評価の結果を受け、令和8年度は次の取り組みを行う。

- ① 学生が安心して学習できるような環境を整え、教育活動を行う。
- ② 効果的な学習となるように時間割を組み、学習を支援する。
- ③ 学習内容や単位取得についてわかりやすいカリキュラムになるよう検討を重ねる。
- ④ 校内の設備、教材の点検・整備を行い、適切な学習環境を整える。